

藤波こども園

令和5年度 園長だより No.5

令和5年10月3日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

残暑厳しい中でも元気に過ごす 藤波の子どもたち



9月1日からは多くの子どもたちで園が賑やかになりましたが、今年は残暑が厳しく、水遊びをしながら過ごす日が続きました。予定していた9月の運動会を10月に延期し、ようやく暑さは落ち着き、いよいよ運動会の取組ができそうになりました。



～給食での試み～

- ・偏食、残食を減らすこと
- ・食べ物を大切にする気持ちを

子どもたちにはしっかりと食事をとって大きく育ってほしいと願うところですが、食事の好き嫌いや食べる量は個人差



があり、苦勞するところです。調理員が子どもたちに「おばちゃんたちが頑張って作ったんだよ」などと話しかけたりして、やや残食が減った時期もあったのですが、処分用の容器に平気で捨てる姿があり、食べ物を粗末にするのでは、と心配しました。そこで最近、箸をつける前に多ければ減らし、その後でおかわりのほしい子が追加でいただくよう



にしています。今のところ、自分で食べる量の調整ができ、食べ物を粗末にする姿は減っています。

人の気持ちを理解して

思いやりのある子どもに

★ブランコの順番待ちの場面で

園庭の遊具のブランコは人気が高く、順番待ちをしなくてはならないことがよくあります。先日Aちゃんたちがブランコに乗っているときにBちゃんがやって来て「替わってー」のことは。AちゃんはブランコをBちゃんに譲って隣のお友だちの押し役になって遊んでいました。その様子を見ていた保育者がAちゃんに聞くと「Bちゃんが乗りたいみたいだから替わってあげた。」その優しさに子どもたちの成長を感じました。



★実習生の日記に

保育士をめざす実習生が日記に次のように書いていました。「6月の実習では感じる事ができなかった子どもの姿があり、子どもの成長を感じた。…『それは痛いと思うよ』と友だちの気持ちを理解し、注意をし合っている姿が見られた。」心身ともに成長する姿、大切にしたいものです。

中江藤樹先生から学ぶ ～藤樹書院への参拝～

高島市が誇る日本の偉人、中江藤樹先生を偲んで月組の子どもたちが書院を訪れ、参拝しました。書院では志村観了さんから藤樹先生が子どもの頃にされていた次の3つのことについてお話いただきました。



- ①靴をそろえる
- ②名前を呼ばれたら返事をする
- ③あいさつをしっかりとする



志村さんが話される1つひとつに子どもたちはしっかりと反応し、自分たちが大事にしている「おはよう」や「ありがとう」などのあい

さつを思い出していました。

けじめのある行動

～万が一に備えての避難訓練～

洪水や地震、火事などの災害のニュースが後を絶ちません。藤波では毎月、いろいろな状況を

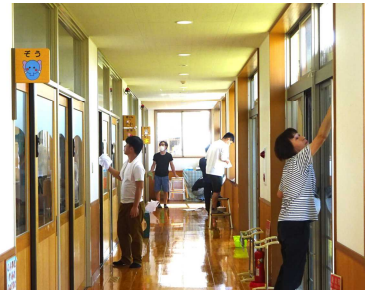


想定して避難訓練を行っていますが、毎回、子どもたちはけじめのある態度で行動しています。避難して全員が園庭に集まった際には、雪組や桃組の乳児たちも、これまでの月組や星組の子どもたちの動きを見ているのか、保育者が人数確認するときや、担当者が全体にお話するときには一言もしゃべらず、避難訓練にしっかりと取り組んでいます。

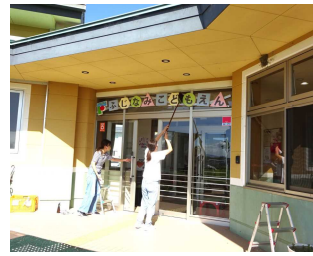


PTA奉仕作業 ありがとうございました

9月16日(土)にはたくさんの保護者の方にお越しいただき、ろうかや保育室の窓ガラスを中心に



園内をきれいにさせていただきました。本来なら私たち職員でなくてはならないのですが、時間的に難しく、6月に引き続いて保護者のみなさまにお願いしました。普段はなかなか手が回らないところなど、隅々までそうじていただき、園内がとてもきれいになりました。ありがとうございました。



多くの方に ご支援いただいています

淵田常博さんから大量のティッシュペーパーをいただきました。園ではいろんな場面で頻繁に消費するもので、とてもありがたいです。他に、保護者の方からもいただいています。ありがとうございました。



赤い羽根共同募金に ご協力を

共同募金運動は1947年に「国民たすけあい運



動」として始まり、地域で寄せられた募金は地域の福祉活動などに役立てられます。本日に配付しました募金箱は10月末に集めさせていただきます。ご協力をお願いします。